

秦野市情報化推進委員会令和7年度第1回会議（会議概要）

日時	令和7年6月12日（木）午前11時～正午	
会場	秦野市役所3階講堂	
出席者	委員	浅川委員、天城委員、平田委員、山口委員、吉田委員 （3名来庁、2名オンライン出席）
	事務局	森谷デジタル推進課長、西澤課長代理（デジタル推進担当）、古木課長代理（情報システム担当）、高橋主任主事、桐山主任主事
議事内容	1 開会 2 委員自己紹介 3 議題 (1) 次期「はだのICT活用推進計画」の基本方針について (2) 令和7年度の主な取組みの紹介 4 その他 5 閉会	

次 第	会 議 概 要
開会	（デジタル推進課長） ・開会のあいさつ
事務局・委員 あいさつ	（事務局） ・自己紹介 ・委員交代のお知らせ （委員） ・自己紹介
資料確認	（事務局） ・秦野市情報化推進委員会についての説明 ・配布資料の確認
議題1	次期「はだのICT活用推進計画」の基本方針について （事務局） ・資料に基づき説明 ・説明内容について委員名簿順に質疑応答を実施

次 第	会 議 概 要
天城委員	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県でも昨年度、「神奈川 DX 計画」を新たに策定した。以前は、「かながわ ICT・データ利活用推進計画」という名称の計画だったが、DX 計画という名称に変更したところである。 ・まさに秦野市でも、名称を変更されるというところで、X（変革）を進めるということは課題になるので、チャレンジな名称になると思う。資料の中でもデジタル化のところから X にどう進めていくかという記載があり、非常に共感しながら読ませていただいた。 ・基本理念が「デジタルで支える市民と行政の未来」になっている。支えられる対象は、市民と行政両方が入っているが、あえて行政を入れたのは何か意図があるか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2040 年問題では、「半分の職員数でも担うべき機能が発揮される自治体を目指すべき」とされている。半減は現実的ではないものの、必要な行政サービスを維持していかなければならない。 ・デジタルの力は内外から期待を寄せられている部分もある中、行政の未来もデジタルで支える、変えていく、そういった意図で入れさせていただいた。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県では、「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」としており、アプローチを「デジタル行政」という形にしているため、確認をさせていただいた。 ・「職員が減っていく」と書かれていたと思うが、一方で、今後、高齢化が進み行政需要が非常に増えていくことが推測される。その辺りもこの計画の中では盛り込んでいくということではよろしいか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政全体の課題をこの計画でどこまで触れるのかは検討が必要

次 第	会 議 概 要
	<p>だが、今後の動向というところでは、その辺も当然触れざるを得ないと考えている。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RPA は神奈川県でも導入して、業務の削減効果もあるが、職員が直接扱うにはなかなか難しいところがある。我々デジタル戦略本部室の方で結構グリップしながら進めていて、職員一人ひとりが使うには厳しい。その中で、職員のリテラシーも上げながらやっていこうとしたときに、この RPA は過渡期のツールという認識をしている。今後、例えばローコード・ノーコードツールを入れていくとか、そういったところは検討されているのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RPA は令和 3 年度の現行計画で開始した中で、現在、18 業務に導入をしたが、各課の職員にやらせるというのは相当パワーがいるということが、この 5 年間での計画の実績でわかった。RPA については、やはり我々デジタル推進課の職員がリードをして、できるものは引っ張っていく。ただそういった中で職員や各課のリテラシーを上げる中で、ローコード・ノーコードツールは自分たちで使って、本当にいろいろ定例的な部分はデジタル推進課が RPA 作る、そういう棲み分けが現実的かなということで、今後 5 年もそういった形でやっていこうと考えている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノーコード・ローコードツールは、DX の取り組みを進める上では、非常に貴重なツールだなと思っているためお伺いをした。
平田委員	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画を拝見し、デジタル人材の育成がポイントになると思った。私が他の自治体様も含めていろいろ対応させていただいている中で、やはり他の自治体様も、いわゆる職員の皆様のリテラシー向上はとても課題として感じられている。 ・ 具体性をしっかりと持ちながらデジタル人材育成をしていただければ、この先、行政のデジタル化が進み、便利になった先に

次 第	会 議 概 要
	<p>市民サービスが向上されると思っている。引き続き良い計画が立てられればと思っている。</p>
<p>山口委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化やデジタル化という非常に複雑で難しいことをしている中で、説明が非常にわかりやすかった。 ・今後のフロントヤード・バックヤード改革のところ、委員会の中に色々な方がメンバーに入ってもらっているので問題ないと思うが、こういったデジタルを進める上では、おそらく場所的なもの、配置等々がどうしても絡んでくると思う。デジタルだけではなくて物理的な場所の確保や、人の流れとかもあるかと思う。その辺りも含めてトータルで検討していくと思っているので、課題にあった“点”ということではなくて、“面”で考えて、推進していただければと思う。
<p>吉田委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校現場にいるので関連したことになるが、やはり人材育成という部分がなかなか学校も進んでおらず、学校にも、デジタルツールをいろいろ導入はしているけれども、使いこなせる人間が少なく、なかなか広がっていかないところが、非常に問題なところと学校の方でも思っている。役所の方もやっぱり同じ部分あるのかなというところでその辺は丁寧な研修を進めていくしかないと思う。 ・また、生成AIの活用についても、一番作業効率が上がる部分でも、まだ発展途上にあると思っている。これも使い方というよりも、そもそもどういうものなのかとか、知識の部分でも非常に差がある。職員に何ができるかというところから丁寧にやらないと、活用はなかなかおぼつかない部分もあると思っている。 ・お互い一緒にできるようなところがあればぜひ、一緒にやらせていただいて、学校の方も取り残さないでいただければありがたいと思っている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成はやはり研修がメインになる。その中で、生成AIは今年度の職員の階層別研修で、2年目3年目職員の二部研修や3年目4年目職員の三部研修で、職員相手に基礎中の基礎から研修

次 第	会 議 概 要
	<p>を行った。特に、ブラウザのログインするところから始め、市長の挨拶文を作ったり、エクセルの計算式作ったり、というところを行った。研修後のアンケートを見ると、「今まで触ったことなかったけど便利なのがわかった」という声も非常に多く出ているので、例えば、学校の先生を対象に色々膨らませることもできると思う。</p>
<p>浅川会長</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期計画は、行政側、ユーザーとなる市民の双方からの、スキルアップということで結び付けてうまく機能すると良いと思っている。 ・DX化は、例えば、行政にとっては言うまでもなく、業務が効率化できて、そして質が上がって、また効率化した分を、他に手をかけられる、とても有意義なことが予想されている。 ・利用者側から見ると、今、スマホをなかなか扱えない高齢者の方などがいるとは思いますが、年を重ねるごとに徐々に、スマホ年代の人が増えていく中で、その中でも取り残された人がいるかもしれない。高齢者向けの教育をやっているが、その下の年代、予備軍となる方にも、そのような機会があればいいと思っている。 ・ぜひ計画を推進していただいて良い結果を期待したい。
<p>浅川会長</p>	<p>全体を通して、改めて委員の皆様からご意見ご質問などありましたらお願いします。</p>
<p>天城委員</p>	<p>この計画は職員のリテラシーの向上にも非常に役に立つと思う。良い計画を作っていただき、少しでも我々もお役に立てればと思う。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東海大学と連携して開催するスマートフォン教室についてご紹介
<p>閉会</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の会議予定、会議参加のお礼及び閉会のあいさつ